

学校名 上尾市立上平小学校
所在地 上尾市大字南102番地
電話 048-771-1751

1 本校の概要

本校は、明治6年に創立され、今年度146周年を迎えた。学級数18学級、児童数497名の中規模校である。学校教育目標を「心豊かで強い意志を持ち、心身共に健康なたくましい子」とし、「①進んで学ぶ子②思いやりのある子③責任を果たす子④たくましい子」の育成を目指している。

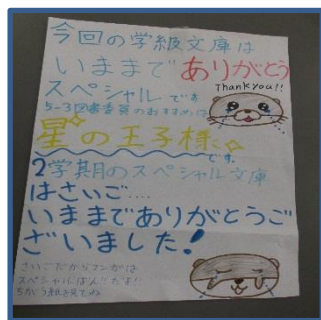
2 本校の実践

(1) 児童自ら学ぶ学校図書館

毎週行っている読み聞かせでは、児童図書委員会が運営に関わり、低学年児童の案内をしたり、場を整えたり、スタンプカードの管理をしたりしている。

また、新聞クイズを毎週実施し、問題作成や正解者の発表の役割を、児童図書委員会が行っている。児童自らが活気ある図書館にしていこうとする意欲を感じる場面である。

さらに、休み時間が忙しく、なかなか来館できない高学年のために、クラスごとの団体ミニ貸出を行っている。児童図書委員会において選書しているが、クラスの実態を考え、リクエストされた本や、おすすめの本などを選び、毎月入れ替えを行った。「本を届けたい。」という児童図書委員会の思いは強く、ミニ貸出についてのポスターを独自に作成するほどであった。



(2) 本に親しみ、味わうための取組

本校図書館では、様々なイベントを企画し、好評を得ている。

自分が読んだ本から、印象に残った言葉や励まされた言葉を書き出す「すてきな言葉」の取組から、本校オリジナルの言葉集を作って3年目になる。低学年も

熱心に取り組み、言葉への関心を高めることができた。

ポプラディアの出張授業も毎年行われ、その成果を期待して、今年は「百科事典・辞書引き名人になろう」と銘打って百科事典から答えを見つけるクイズを行った。高学年を中心に盛況であった。

さらに本への関心を高めるため、日本十進分類法に触れられる「読書ビンゴ」を行った。より背ラベルの数字が意識されるように配架を分かりやすくし、低学年にも理解され、多様な読書へのきっかけとなった。

今年度購入した「一筆啓上」シリーズをまねて、「とっても短い〇〇さんへの手紙」を書いてもらった。児童の内面を吐露するような、内容の濃いものとなった。



(3) ワクワク楽しい図書館を目指して

図書館の内外は大変に魅力溢れる空間である。廊下にある「ネイチャーコーナー」では、自然科学へいざなう魅力ある空間であり、壁面にはボランティアの方々が作成したすてきな掲示作品が飾られ、掲示板には新着図書が並び、壮観である。新聞記事の人気投票も行っており、読んだ児童が思い思いに「いいね」シールを貼っている。様々な工夫により、図書館は明るく楽しい魅力的な場所となっている。昨年度始めた「本の福袋」の取組も、人気のイベントである。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

居心地のよい環境を整え、読書の取組を充実させ、児童・教員ともに貸出数を増やすことができた。

(2) 課題

どの子も本に親しめるようなさらなる改善・工夫を行い、本の楽しさを伝えていきたい。

(3) おわりに

司書教諭・図書支援員を中心とした全教員で連携し、今後も魅力ある読書活動を推進していきたい。